

2005年8月2日

各位

メディシノバ・インク
プレジデント、チーフ・エグゼクティブ・オフィサー
清泉 貴志
(コード番号：4875 大証ヘラクレス)
問合わせ先 財務担当ヴァイス・プレジデント
鈴木 譲二
電話番号 03-3519-5010
E-mail info@medicinova.com

MN-166 の多発性硬化症におけるフェーズ 2 臨床試験開始のお知らせ

2005年8月2日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ・インク(米国カリフォルニア州 サンディエゴ、プレジデント・CEO: 清泉貴志)は多発性硬化症治療薬 MN-166 のフェーズ 2 臨床試験の患者登録を開始いたしました。多発性硬化症とは、中枢神経系の炎症性脱髄疾患です。MN-166 はホスホジエステラーゼ の抑制など新たな作用機序を持ち、安全性、認容性に優れた特性を示すだけでなく、経口投与できるという重要な利点を有しています。再発緩解型多発性硬化症患者を対象に行った小規模の非盲検試験では有望な結果を示しております。今回のフェーズ 2 臨床試験は、東欧の 9 カ国で行い、再発緩解型多発性硬化症の患者 300 人を対象とするプラセボ対照試験により 2 種類の経口投与の比較を行います。

杏林製薬株式会社(本社：東京都、代表取締役社長：荻原郁夫)とのライセンス契約に基づいて、当社は日本、中国、台湾、韓国を除く全世界における MN-166 の多発性硬化症領域での独占的開発、販売権を取得しております。過去 16 年間にわたり、MN-166 は、気管支喘息及び脳梗塞後遺症に伴う慢性循環障害(めまい)の改善の適応で、日本においてケタスという商品名で販売されております。また韓国でも 2002 年 9 月に上市されています。

本臨床試験では、脳内における多発性硬化症による病変部の減少を MRI(各磁気共鳴法)で測定し、EDSS(拡大障害尺度)で年間再発率及び機能状態を測ります。

以上

メディシノバ・インクは様々な疾患領域の新規医薬品の導入・開発・販売に特化する製薬企業です。弊社の開発パイプラインには切迫早産、癌、気管支喘息、多発性硬化症、不安障害といった様々な病

態をターゲットにした化合物が臨床開発段階にあります。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.com> をご覧下さい。メディシノバ・インクの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには米国証券取引委員会の規定する「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。このプレスリリースにおいて、将来発生することを当社が期待、信頼、あるいは予想している活動、出来事、および進展にかかる記述は、過去の事実を除きすべて「将来の見通しに関する記述」に該当する可能性があります。これらの記述は当社の立てたある前提に基づくものであり、これら前提は経営陣の経験や過去の傾向、現況、期待される将来の進展、およびその時の状況下において適切と判断する他の要因に対する経営陣の認識に基づくものであります。このような記述は多くの前提、リスク、不確定要素の影響を受けますが、これらの多くは当社のコントロールが及ばないものであり、実際の当社の業績は「将来の見通しに関する記述」に表現されるあるいは示唆されるものと大きく異なることがあります。これらリスクには米国証券取引委員会提出のメディシノバ・インクにかかる文書に詳述されているリスクファクターが含まれています。

* 本書は英文プレスリリースの日本語抄訳であり、本書の別添として当該英文プレスリリースを添付しておりますので、合わせてご参照いただきますようお願い申し上げます。当該英文プレスリリースは米国において Form8-K として米国証券取引委員会に提出され開示されます。